



らく
楽

しょう
笑

こう
幸

れい しゃ
齢者

になろう!

認知症になっても安心して暮らせる大槌町を目指して

『認知症サポーター養成講座』を開催しませんか？

大槌町では、認知症になっても安心して暮らせる町を目指して、認知症について正しい知識の普及や認知症の人や家族を見守るサポーターの養成に取り組んでいます。

認知症は誰にでも起こりうる脳の病気に起因するものです。85歳以上では、4人に1人にその症状があるといわれています。高齢化率の上昇に伴い、認知症高齢者数も急増することが予想されています。認知症の人や家族を見守る「応援者」である『認知症サポーター』の養成を通じて、誰もが住みやすいまちづくりを一緒にすすめていきましょう。

『認知症サポーター養成講座』って、何を学ぶの？

認知症の正しい理解、認知症の人の行動や心理、対応する際の心配りなどの学習をします。

【所要時間】 おおむね 60 ～ 90 分

【費用】 無料

【内容】 スライド等を用いた講話、寸劇、DVD 視聴など

大槌学園での様子



『認知症サポーター養成講座』を受けたらどうなるの？

受講された方には、「認知症の人を見守る、応援者」という目印である“オレンジリング”を進呈します。ご自分の出来ることを、出来る範囲でご協力ください。

住民向け講演会での様子



開催ご希望の場合はご連絡ください。お待ちしております。

【お問い合わせ】 大槌町 長寿課 地域包括支援班 TEL 0193-42-8716

認知症でも安心して暮らせる大槌町をめざして「認知症徘徊模擬訓練勉強会」を開催します

認知症の人が、家族の知らない間に出かけてしまい、自宅に帰れなくなったり、事故に合ったりする「徘徊」が大槌町でも増えてきています。徘徊している高齢者の早期発見には、周囲の方々の見守る目と認知症に対する理解が必要です。そこで、全国各地で行われているのが「徘徊模擬訓練」です。認知症の人の徘徊を想定して声のかけ方などを学ぶもので、大槌町では昨年 11 月に大ケ口地区で開催し、今年度も開催を予定しています。

今回の勉強会では、和歌山県御坊市で行われた徘徊模擬訓練について学びます。一緒に徘徊模擬訓練について学んでみませんか。

■日 時 7月7日(金) 13:30～15:00

■場 所 シーサイドタウンマスト2階 マストホール

- 講 師 和歌山県御坊市
- 対象者 大槌町に在住在勤の人 40名程度
- 参加費 無料
- 申 込 7月3日(月) までに下記へお申し込みください。
- 【申込み・問合せ】 大槌町地域包括支援センター TEL 0193-42-8716

おおつち愛あいネットについて

この度、新たに高齢者等の見守りに関する協定を締結し、事業に取り組んでいただいている団体をお知らせいたします。

【平成 29 年 4 月 26 日 協定締結事業者(敬称略)】
東京大学高齢社会総合研究機構

【おおつち愛あいネット登録事業者数】
50 団体(平成 29 年 5 月 1 日現在)

現在の協定締結事業者や協定締結式の詳細については、町ホームページに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

小中一貫教育だより



城山の風

大槌のすべての子に
豊かな「育ち」と
確かな「学び」を

吉里吉里学園中学部

恵比寿ガーデンプレイスで大槌を発信



吉里吉里学園中学部 9 年生は、4 月 13 日(木) から 2 泊 3 日の修学旅行に行ってきました。

初日は、吉里吉里の良さを東京に

発信しようと、2 月に収穫し製品化した吉里吉里ワカメの販売と吉里吉里大神楽の披露を行いました。

昨年度まで、銀座の銀河プラザで行っていましたが、今年度は、サッポロホールディングス株式会社の支援で恵比寿ガーデンプレイスで行うことができました。

大変広く、おしゃれな空間で、人通りも多く、200 袋持って行った吉里吉里ワカメは、30 分程で完売しました。大神楽のお囃子が響くと、沢山の人たちが集まってきました。アンコールの声援が出るほどの盛況ぶりでした。来年度は、400 袋の販売も可能であることを確信しました。

サッポロホールディングス株式会社の皆さんには、事前に宣伝活動をしていただいたことや当日も沢山の支援をいただいたことに感謝申し上げます。また、東京のふるさと大槌会の皆さんも応援に駆けつけてくれたことに感謝申し上げます。

実行委員長 佐野 敬尚

恵比寿ガーデンプレイスをみたときは、広くて、りっぱで、さすが東京だなと驚きと感動がありました。

先輩から「200 袋のワカメを販売するのは大変だよ」と聞いていたので、気合いを入れて売ろうと思っていたら、あっという間に完売してしまい、試食品が残ってしまったので、通りすがりの人達に食べてもらいました。皆さん「すごく美味しいね」と言ってくれ嬉しい気持ちになりました。

大神楽の披露では、沢山の人が見に来てくれ、ちょっと緊張しましたが、大きな拍手やアンコールがありホッとしました。練習の成果が出せてよかったと思います。

吉里吉里が誇るワカメと郷土芸能を東京の人たちに発信することができました。



子供達の通学時の安全確保にご協力を！

現在の通学状況(児童生徒数: 756 名)

スクールバス通学 239 人(大槌学園)

徒歩通学 339 人(大槌学園 210 人、吉里吉里学園 129 人)

自転車通学 178 人(大槌学園)

もっと知って!! イトヨ

役場の町民室で飼育、観察されていた「イトヨ」が大槌学園の「井戸端会議室」に引っ越ししました。

源水川に生息するイトヨは、全国でも 5 カ所です。確認されず、その生体数も減少してきています。20℃以下のきれいな水を好むとされ、環境省のレッドデータブックで絶滅危惧種に指定されるほどの希少種です。

大槌町では、平成 19 年に町指定文化財(天然記念物)に指定し、源水地区の住民を中心とする「イトヨを守る会」や大槌高校の「自然科学同好会」が川の清掃活動や観察・生態



研究を行ってきました。

復興まちづくりにおいても、郷土財としての湧水・イトヨの保護・保全・活用を図っていくこととしています。

イトヨの飼育水槽は東京建設コンサルタントとサッポロホールディングスの支援で大槌・吉里吉里両学園に設置され、ふるさと科の郷土の自然、文化財に親しむ学習に役立てられます。町民の皆様もお気軽に立ち寄ってご覧ください。

イトヨ豆知識

北半球に分布するトゲウオ科の魚。沿岸や入り江、汽水域、川や池に住む。サケのように川で生まれて海に下っていく「降海型」と淡水域で一生を過ごす「陸封型(淡水型)」がある。源水川に生息するイトヨは後者。

